

折 橋 墓 地 機 能 復 旧 工 事

図 面 リ ス ト			
建 築 工 事			
1	特 記 仕 様 書	7	新 設 地 蔵 棟 配 置 計 画 図
2	用 地 平 面 図	8	新 設 地 蔵 棟 詳 細 図
3	既 設 管 理 棟 解 体 現 状 図	9	仏 像 用 新 設 仏 具 図
4	既 設 管 理 棟 解 体 図	10	新 設 休 憩 所 詳 細 図 (参 考)
5	既 設 地 蔵 解 体 図 (1 体 + 4 体)		
6	既 設 地 蔵 解 体 図 (6 体 + 1 体)		

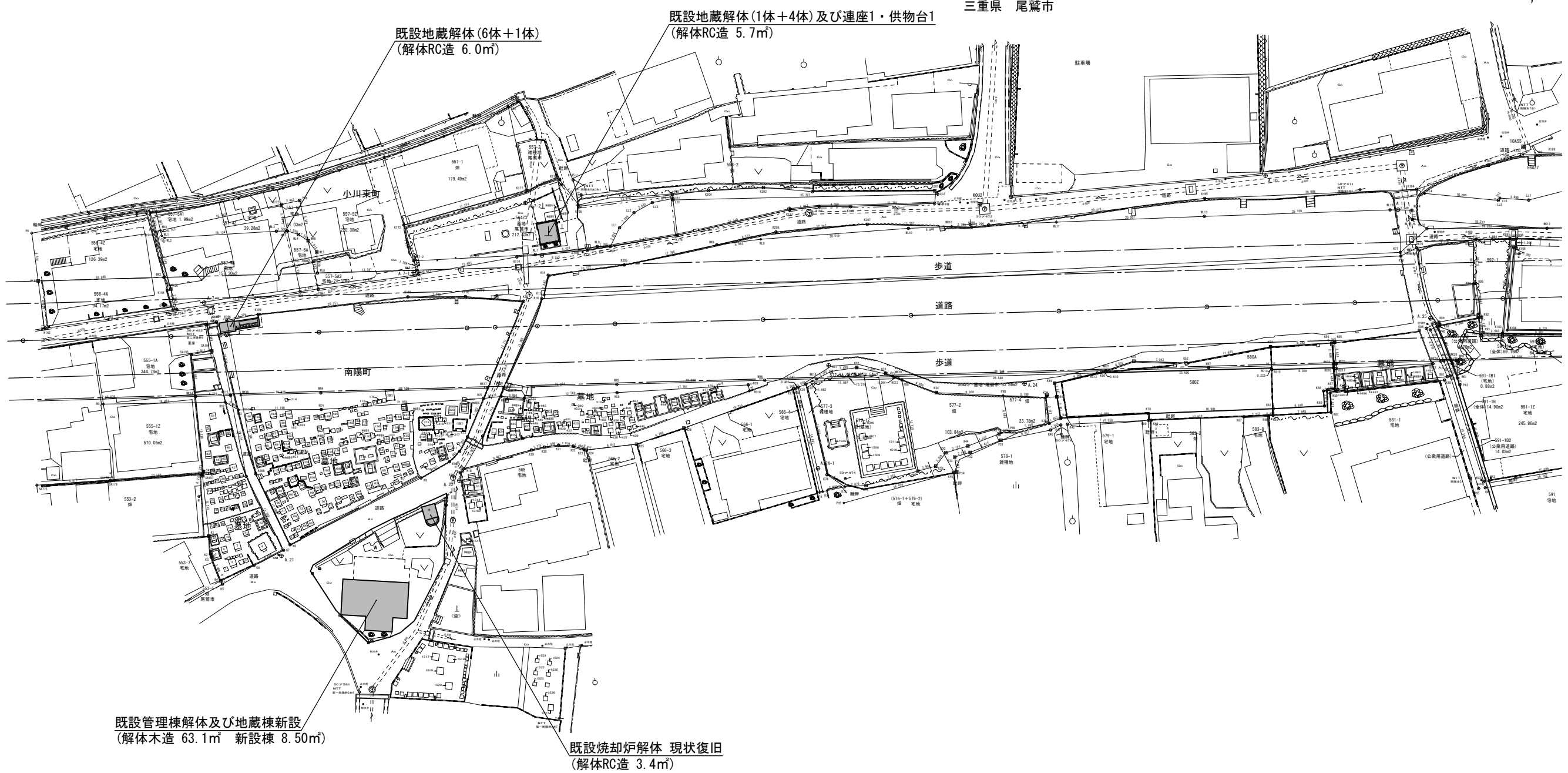
附記：

工事名	折 橋 墓 地 機 能 復 旧	工事設計図	設計R7年11月22日	担 当	製 図	植 松 建 築 設 計		図面No.
図面名	図 面 リ ス ト		縮尺 NON			管理建築士 植 松 顕 哉 1級建築士 第167191号	三重県尾鷲市大滝町8番15号 TEL (0597) 22-8138	0 枚の内

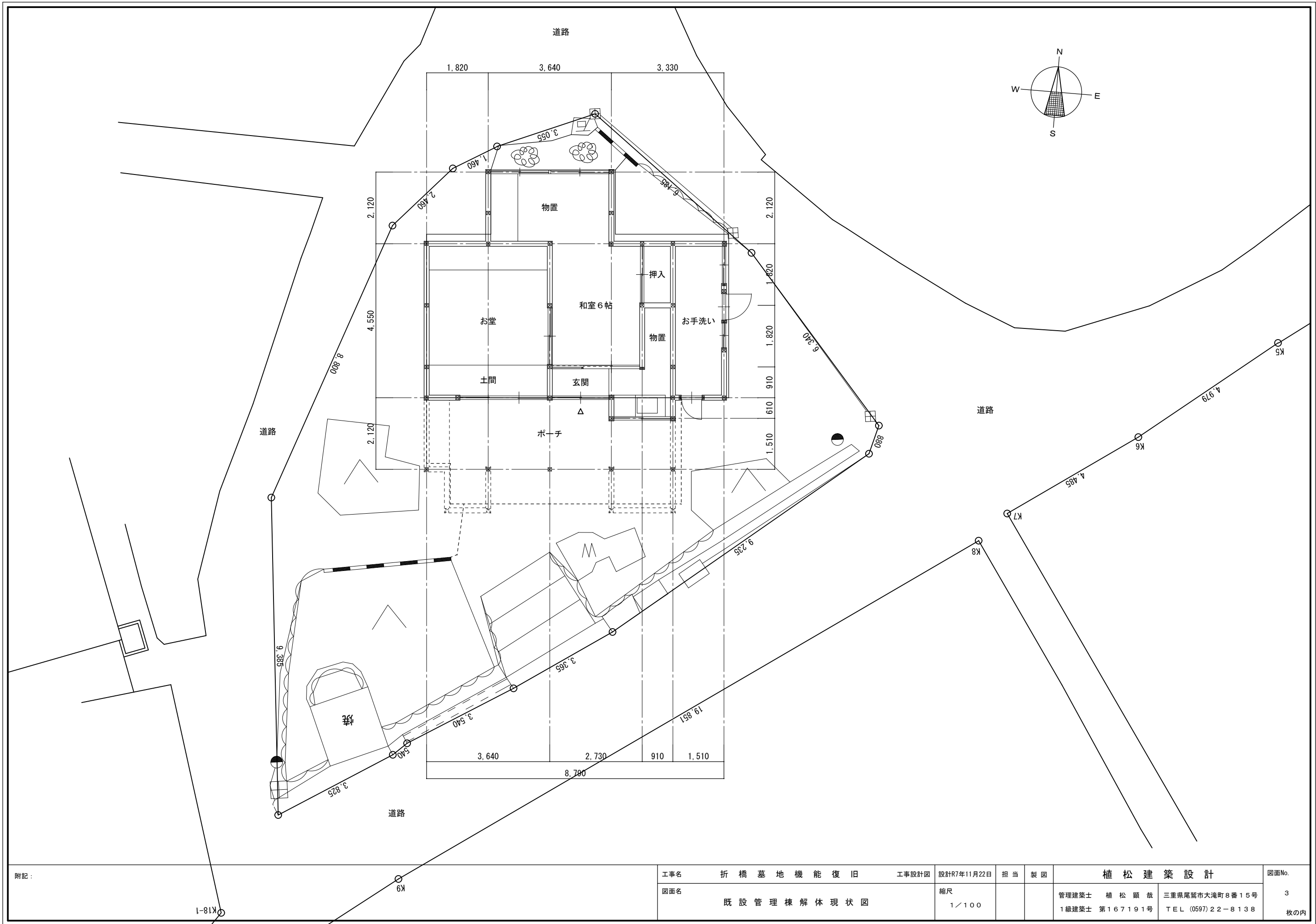
特 記 仕 様 書									
工 事 名 称		折橋墓地機能復旧工事							
工 事 場 所		三重県尾鷲市南陽町地内 都市計画区域内地域							
工 事 概 要		■ 地蔵棟移転改築工事 屋根：H8材-GL鋼板 ア0.35 横葺 切妻勾配4寸 外壁：C8 ア120積 モリタ塗 ア15(金ヅ押目地切) ■ 休憩所新設工事 部材：7ミ材加工品(国交省告示第410号) 屋根：ネリ材 ネド 樹脂板(DW-0029号)				■ 地蔵用仏具等附帯工事 仏具：地蔵台、蓮座、供物台、花立、縁香立、湯呑 ■ 外構工事（新設） 犬走り：土間コンクリート打 ア100 伸縮目地切 土留壁：C8 ア100 化粧石積 ■ 解体工事（既設） 地蔵堂（6体+1体）の解体移転 地蔵堂（1体+4体）の解体移転 蓮座及び供物台解体 管理棟解体 焼却炉解体			
		建 築 面 積		地蔵棟	8.50㎡	休憩所	12.85㎡	敷 地 面 積	212.30㎡
		床 面 積		地蔵棟	8.50㎡	休憩所	12.85㎡		
		工 事 範 囲		建築工事・外構工事・附帯工事（仏像用仏具）					
項 目		特記事項							
一 般 共 通 事 項	設計図書	設計図書の優先順位は次の通りとする。 1. 現場説明書（質疑応答書を含む） 2. 特記仕様書 3. 設計図 4. 標準仕様書							
	共通仕様書	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て三重県公共工事共通仕様書及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書による。							
	工事材料	仕様材料は特に指定されたもの以外は全て新品とする。 材料はJIS・JAS規格に適合するものとする。 規格制度の無いものは、監理者の承諾を得ること。 又、仕様材料工場製品は全て監理者の検査・承諾を得ること。							
	品質管理 ・施工検査 材料試験検査	請負者は、各工事・工種の完了時に自主検査及び監理者の検査を受けること。 材料試験共試体は、監理者立ち会いの上採取し公共試験場等で行い結果を報告する。又、仕様材料の内監理者の必要と認めたものは、規格書を提出すること。							
	工事範囲	建築工事・設備工事の一切を行う。内容は本仕様書及び設計図書に係る工事並びに図面の示す範囲とし、特記なき限り電気設備工事については引込接続口までの工事、給水工事については本管接続まで、排水工事については流末接続までの工事とする。							
	工事負担	工事に伴う、選任届申請、許可申請書等に要する費用は施工業者負担とする。 工事着手後、敷地境界線杭及び、外周工作等を破損した場合監理者立会の上、施工者負担に於いて直ちに原形復旧すること。 側溝、道路等の清掃を常に行うこと。							
	建設工事保険	工事現場の管理は関連法令に伴い危険防止、災害防止及び火災には十分注意し特に工事中における火災保険等建設工事保険に必ず加入すること。 (使用材料も含む)							
	協議 質疑・軽微変更	図面と仕様書と内容が相違する場合は、監理者と十分に協議し、現場の納まり等の変更は、監理者の指示により従う。又その関係で材料寸法、取付位置、工法等を多少変更した場合、又員数が多少増減する等及び設計図書に記入なき場合においても納まり等施工上必要と見られる事項については工事範囲に含むものとする。また、それに対する軽微な変更は認めない。							
	工程表	工事関係提出書類、工事現場備付図書及び報告書は監理者の指示による。							
	施工計画 その他提出書類	各工程に先立ち施工者は、施工計画書、施工図、材料及び責任施工業者リストを提出し、監理者の承認を得ること。							
一 般 共 通 事 項	工事記録 ・報告完成図等	監理者との協議による。							
	工事負担	水道接続工事及び、排水工事における最終接続についてそれぞれにおける接続工事は本設計範囲とし本工事とする。 給水加入金とメーターボックスは別途工事とする。 電気引込工事は、本工事とする。							
	注意事項	別途工事、支給品等については、その取合部について事前に監理者と十分に打ち合わせの上施工する。 使用材料の種類、色、柄、金物等については、見本品及び承認図提出の上、事前に監理者と十分に打ち合わせの上決定する。 各種メーカーの仕様については同社標準施工を順守する事。							
	解体工事	廃棄物処理法、建設リサイクル法、建設業法等による規制を順守すると共に工事に当たっては解体工事の建設業許可業者によるものとする。							
	仮設 工 事	工事用水・電気	利用できない。 施工に先立ち仮設計画書を監理者に提出し、承諾を得ること。 水盛・やりかた						監理者の立会のもとに、図面により建物位置の縄張りを行う。 やりかたは、適当な材料を使って正確堅牢に設け、建物位置、その他の墨出しを行って、地盤の高さを定めた後は、狂いのない様に注意する。
附 記：									
工 事 名									



三重県 尾鷲市



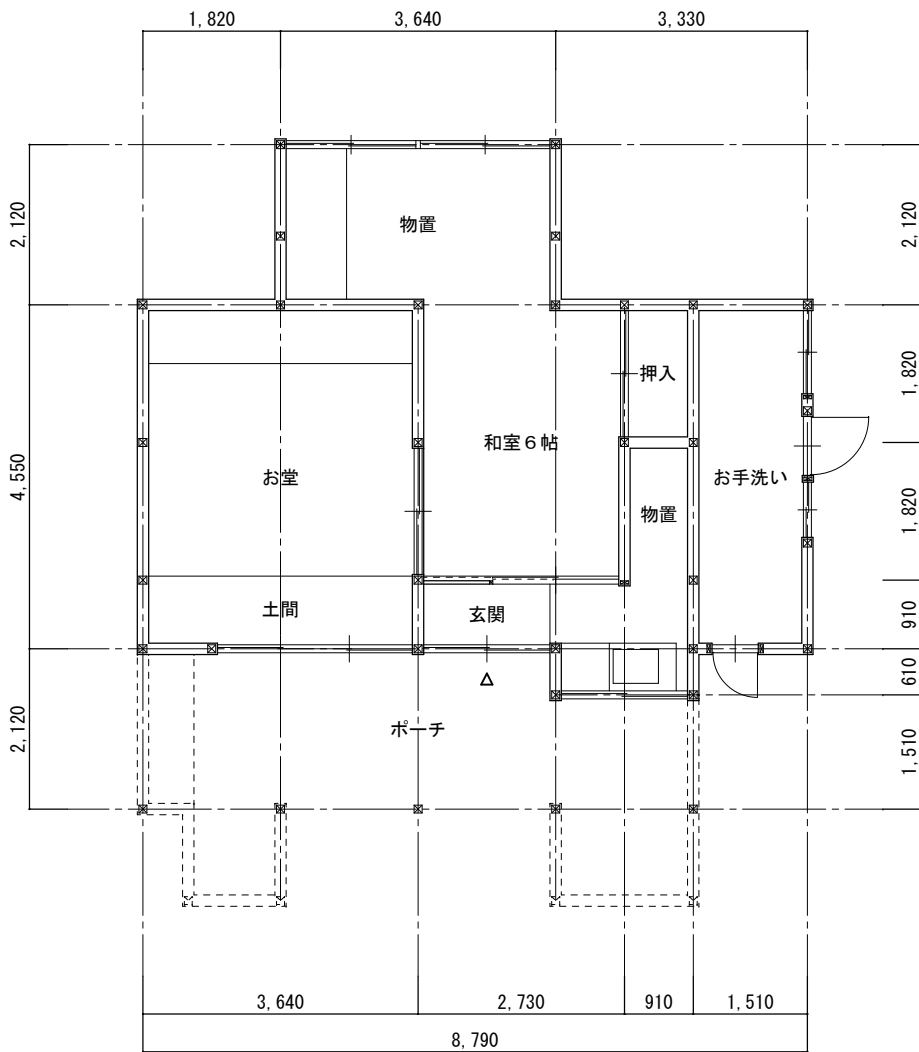
附記：	工事名	折 橋 基 地 機 能 復 旧	工事設計図	設計R7年11月22日	担 当	製 図	植 松 建 築 設 計		図面No.
	図面名	用 地 平 面 図		縮尺 1／600			管理建築士 植 松 顕 哉 1級建築士 第167191号	三重県尾鷲市大滝町8番15号 TEL (0597) 22-8138	2 枚の内



附記：

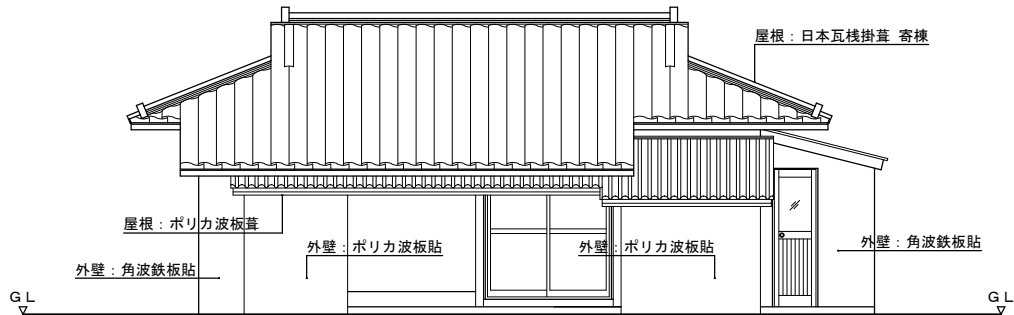
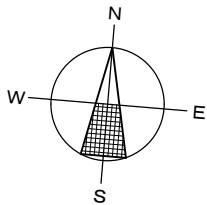
K18-1

工事名	折 橋 基 地 機 能 復 旧	工事設計図	設計R7年11月22日	担 当	製 図	植 松 建 築 設 計		図面No.
図面名	既 設 管 理 棟 解 体 現 状 図		縮尺 1／100			管理建築士 植 松 顕 哉 1級建築士 第 1 6 7 1 9 1 号	三重県尾鷲市大滝町8番15号 TEL (0597) 22－8138	3 枚の内

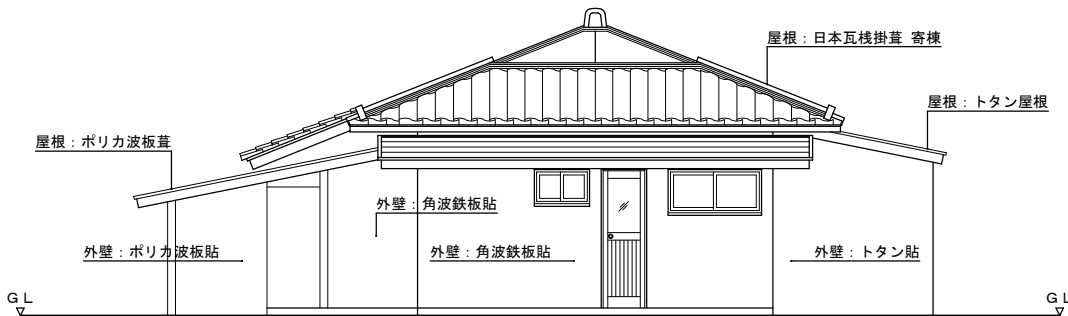


既設木造 1 階平面図 S=1/100

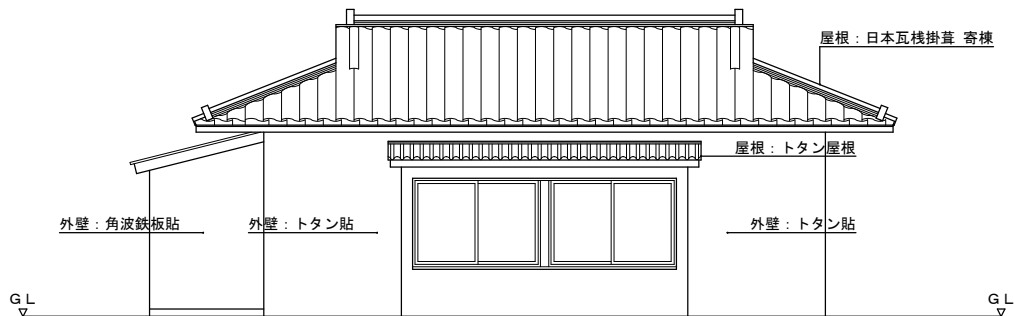
解体工事については上記図示に依る。(木造平屋建)
床面積：63.14㎡(19.10坪)
敷地面積：212.30㎡(64.20坪)



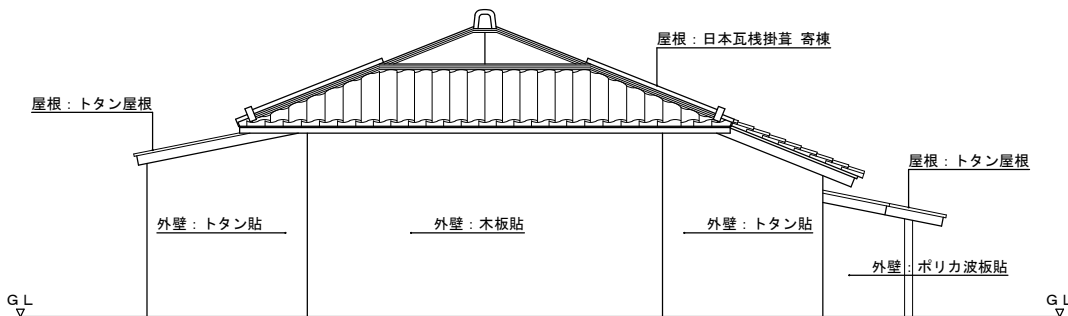
既設木造南側立面図 S=1/100



既設木造東側立面図 S=1/100



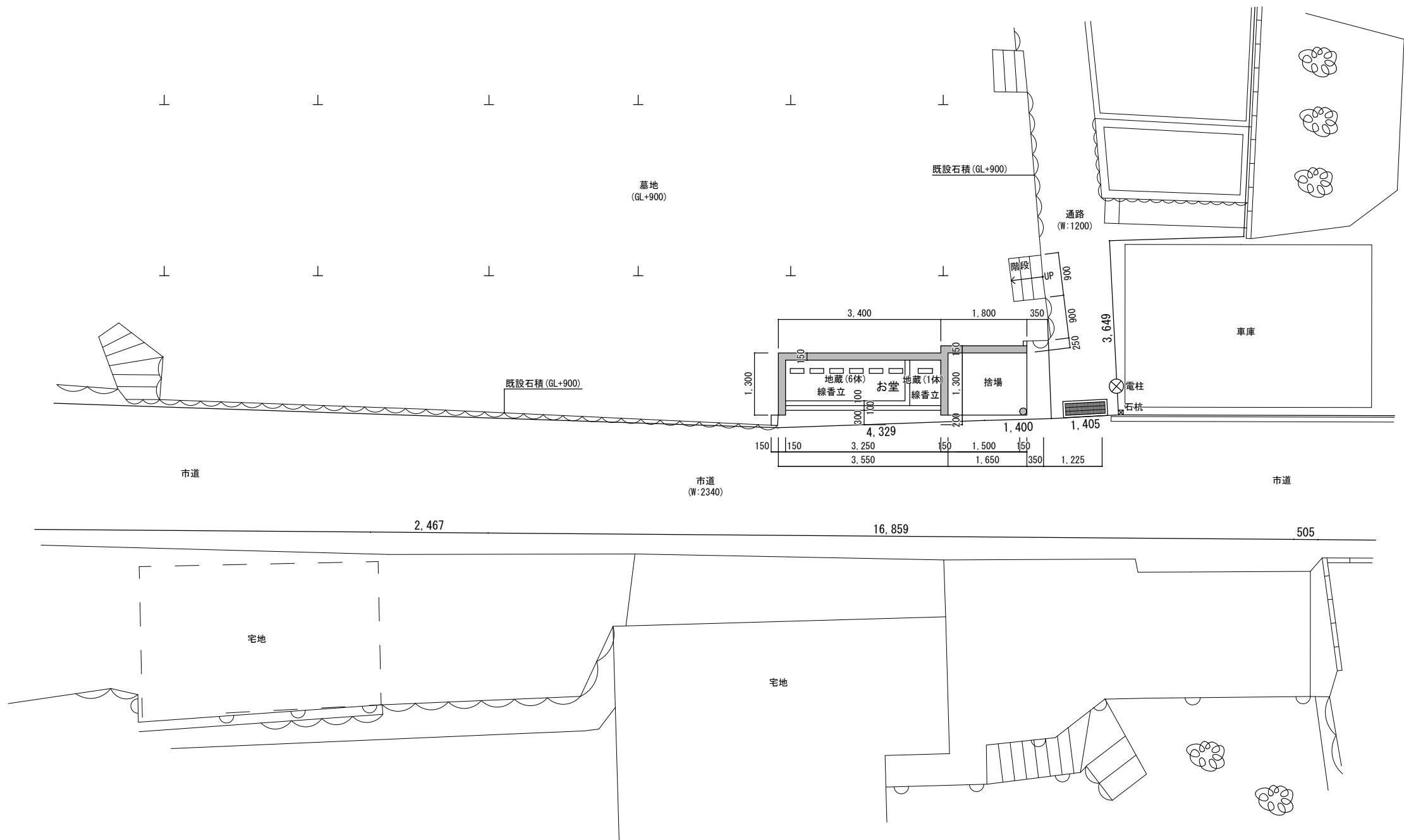
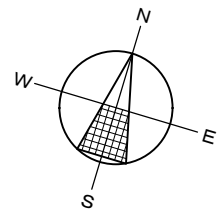
既設木造北側立面図 S=1/100



既設木造西側立面図 S=1/100

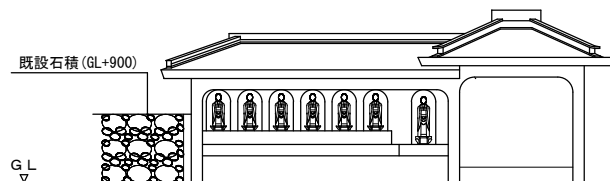
附記：

工事名	折橋基地機能復旧	工事設計図	設計R7年11月22日	担当	製図	植松建築設計		図面No.
図面名	既設管理棟解体図	縮尺	1/100			管理建築士 植松顕哉	三重県尾鷲市大滝町8番15号	4
						1級建築士 第167191号	TEL (0597) 22-8138	枚の内

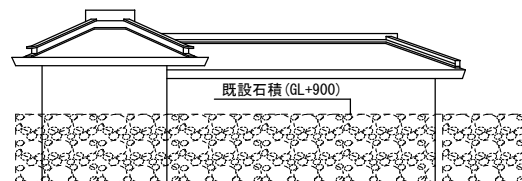


平面図 S=1/100

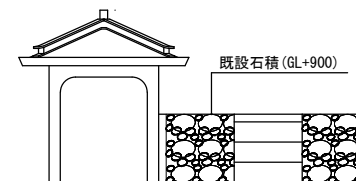
地蔵棟解体RC造 6.0㎡



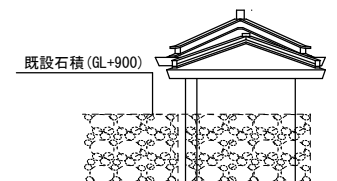
南側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100

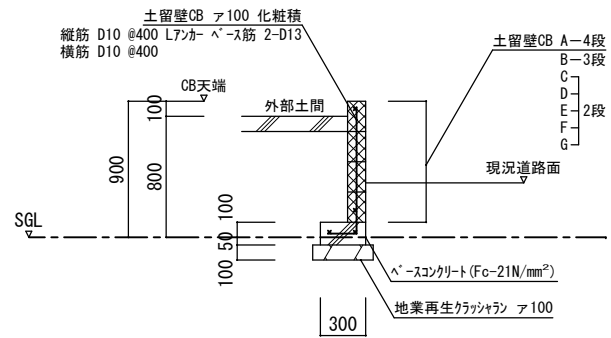
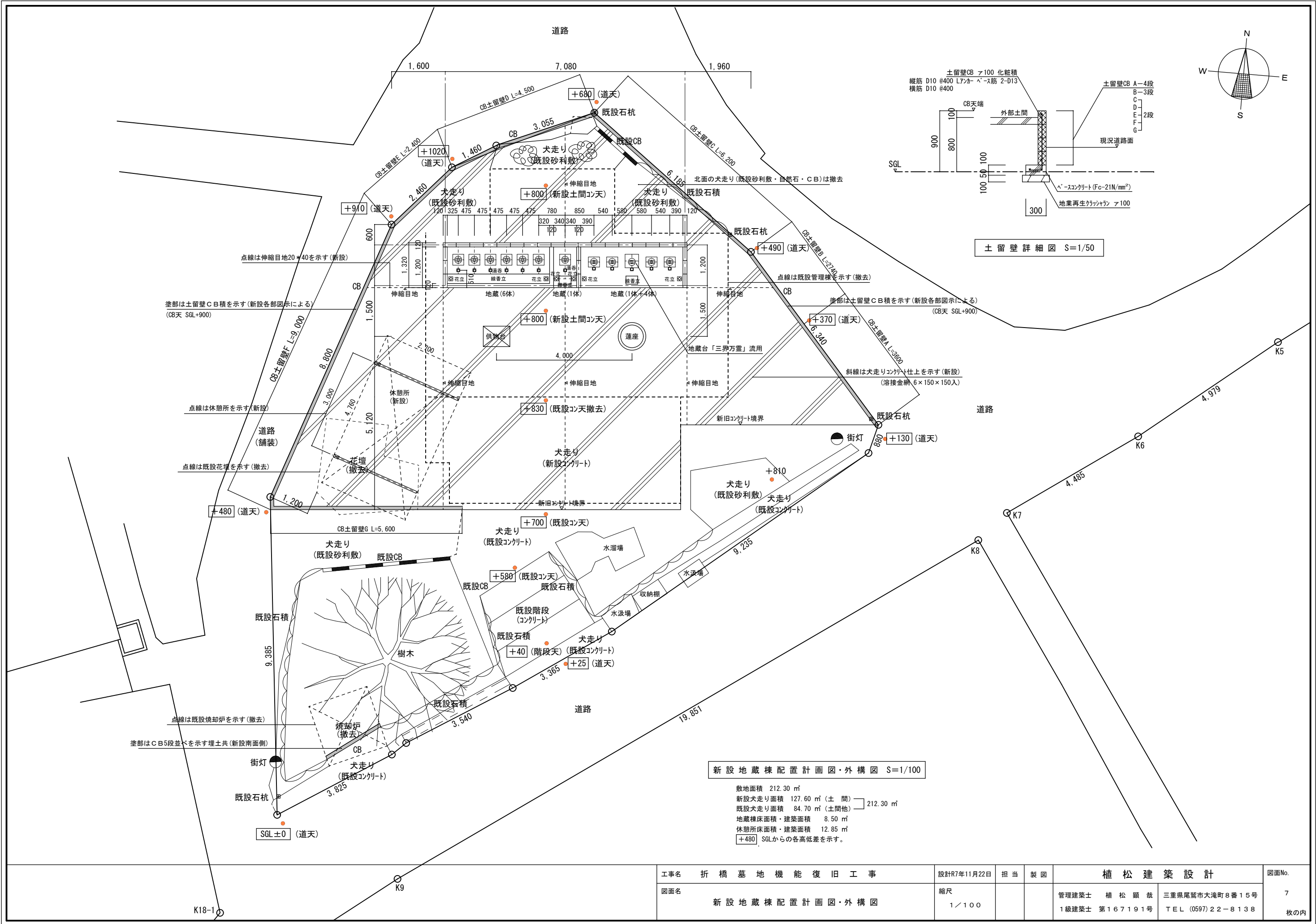


東側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

附記：	工事名	折橋墓地機能復旧	工事設計図	設計R7年11月22日	担当	製図	植松建築設計		図面No. 6 枚の内
	図面名	既設地蔵解体図(6体+1体)		縮尺 1/100			管理建築士 植松顕哉 1級建築士 第167191号	三重県尾鷲市大滝町8番15号 TEL (0597) 22-8138	

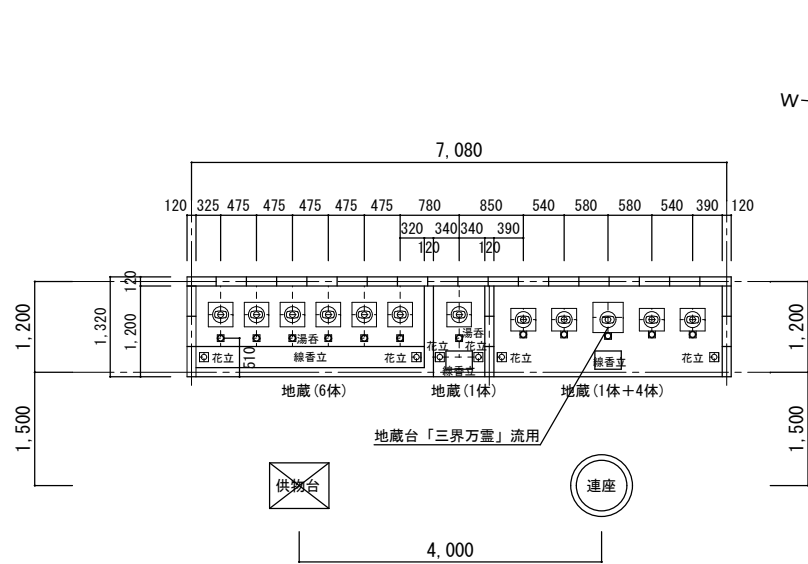


土留壁詳細図 S=1/50

新設地蔵棟配置計画図・外構図 S=1/100

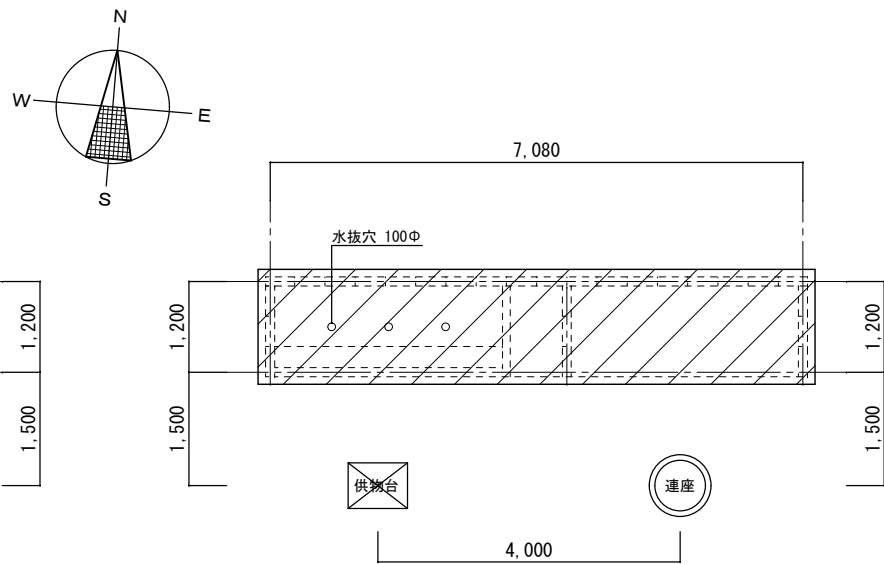
敷地面積	212.30㎡
新設犬走り面積	127.60㎡(土間)
既設犬走り面積	84.70㎡(土間他)
地蔵棟床面積・建築面積	8.50㎡
休憩所床面積・建築面積	12.85㎡
+480 SGLからの各高低差を示す。	

工事名 折橋基地機能復旧工事		設計R7年11月22日	担当	製図	植松建築設計		図面No. 7 枚の内
図面名 新設地蔵棟配置計画図・外構図		縮尺 1/100			管理建築士 植松顕哉	三重県尾鷲市大滝町8番15号	
					1級建築士 第167191号	TEL (0597) 22-8138	



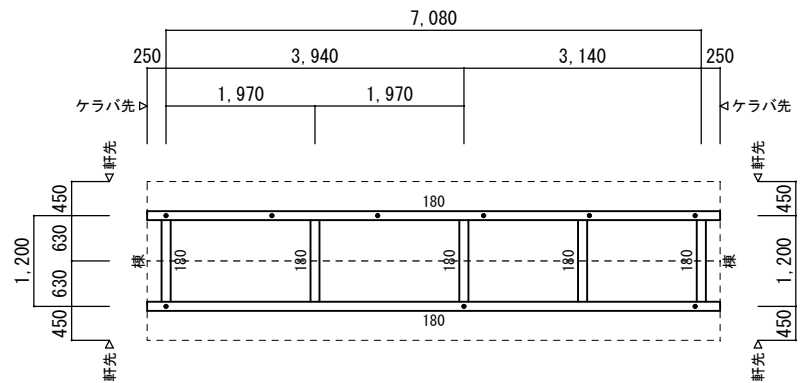
地蔵棟平面図 S=1/100

床面積: 8.50 m²



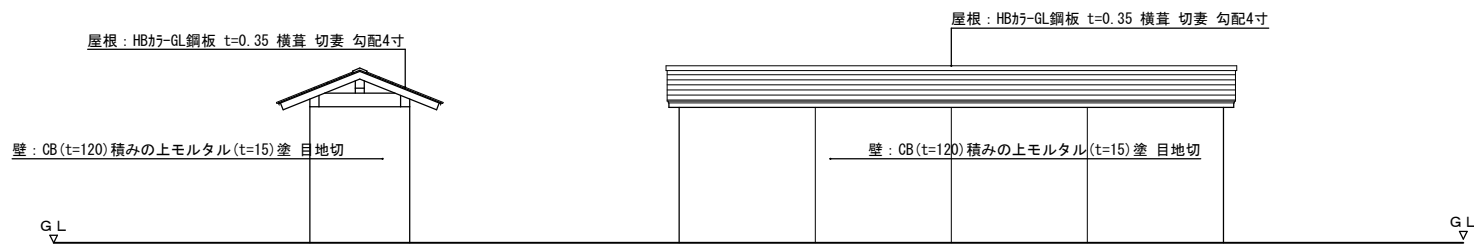
地蔵棟基礎伏図 S=1/100

基礎伏図凡例	
	コンクリート打 100 D13 @200 (ﾀﾞｲ・ｺﾅﾙ)

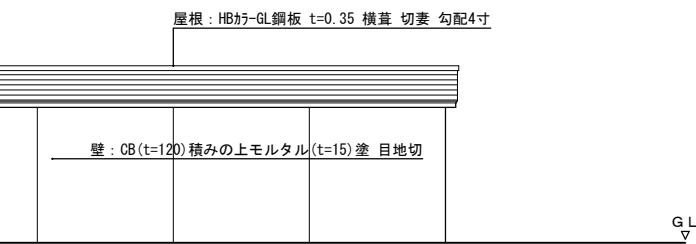


地蔵棟小屋伏図 S=1/100

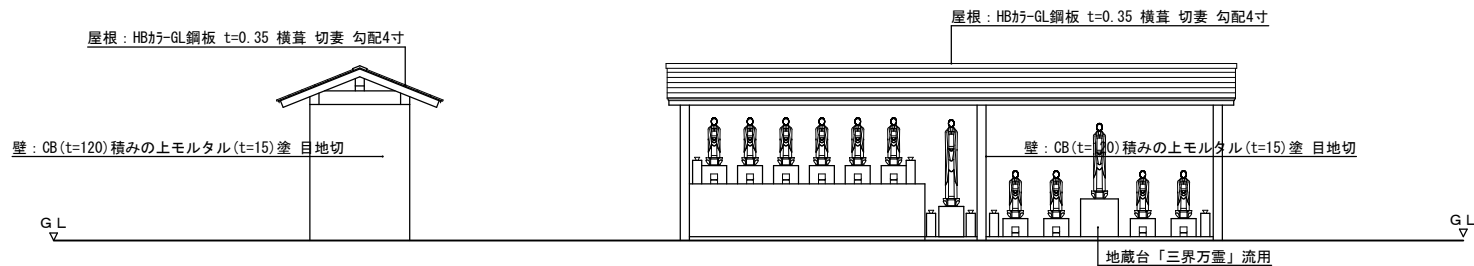
小屋伏図凡例	
数値	数値各梁材
棟---	棟位置 120×180
●	AB-12 L450@1400
軒先、ケラバ先寸法は屋根材割りによる。	



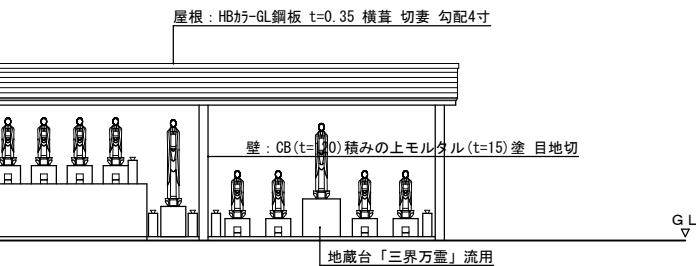
地蔵棟西側立面図 S=1/100



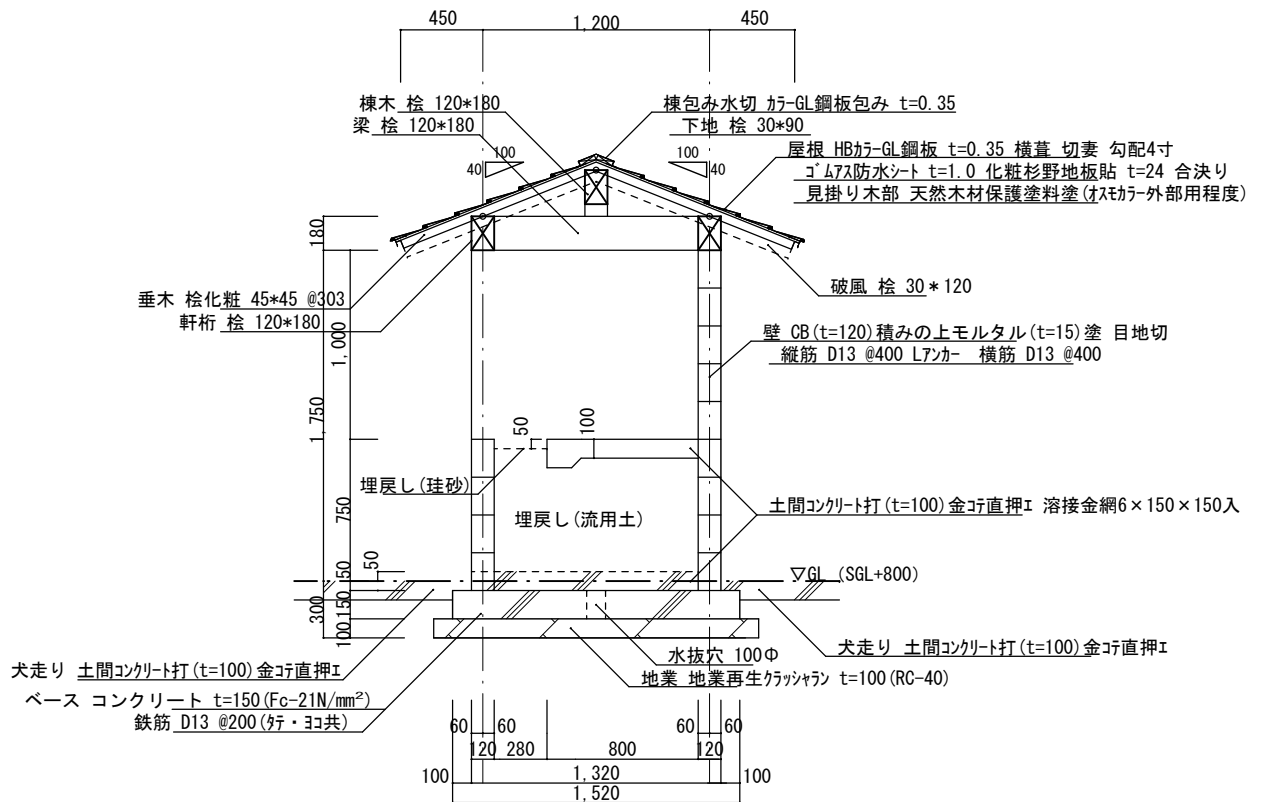
地蔵棟北側立面図 S=1/100



地蔵棟東側立面図 S=1/100



地蔵棟南側立面図 S=1/100



詳細図 S=1/40

附記:

工事名 折橋基地機能復旧

工事設計図

設計R7年11月22日

担当

製図

植松建築設計

図面No.

図面名

新設地蔵棟詳細図

縮尺

1/100

1/40

管理建築士 植松顕哉

1級建築士 第167191号

三重県尾鷲市大滝町8番15号

TEL (0597) 22-8138

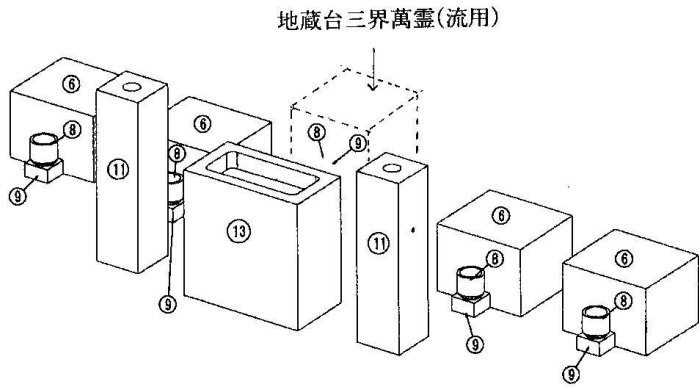
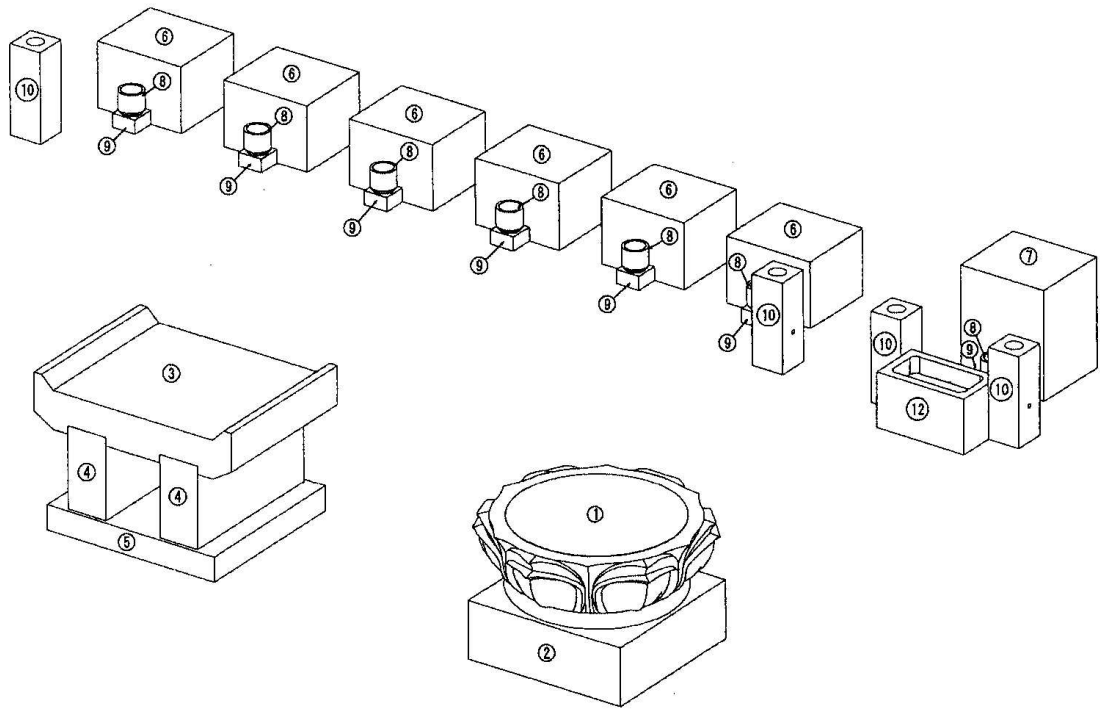
8

枚の内

蓮座・供物台・地藏台・花立・湯呑

石種：吉林603程度

N o	部材名称	磨き・仕上	切数寸法	切数	数量	切数計	単位
1	蓮華	5面磨き	815 * 747.08* 270	5.92	1	5.92	mm
2	蓮華台	5面磨き	605 * 605 * 210	2.77	1	2.77	mm
3	供物台 天板	6面磨き	785 * 605 * 185	3.16	1	3.16	mm
4	供物台 足	4面磨き	150 * 605 * 300	0.98	2	1.96	mm
5	供物台 台	5面磨き	665 * 635 * 90	1.37	1	1.37	mm
6	地藏台	5面磨き	330 * 300 * 240	0.86	10	8.60	mm
7	地藏台	5面磨き	330 * 300 * 400	1.43	1	1.43	mm
8	湯呑	5面磨き	90 * 90 * 80	0.02	12	0.24	mm
9	湯呑台	5面磨き	90 * 90 * 50	0.01	12	0.12	mm
10	花立	5面磨き	120 * 120 * 330	0.17	4	0.68	mm
11	花立	5面磨き	167 * 167 * 615	0.62	2	1.24	mm
12	線香立	5面磨き	350 * 200 * 200	0.50	1	0.50	mm
13	線香立	5面磨き	450 * 250 * 450	1.82	1	1.82	mm
				合計	53	36.30	



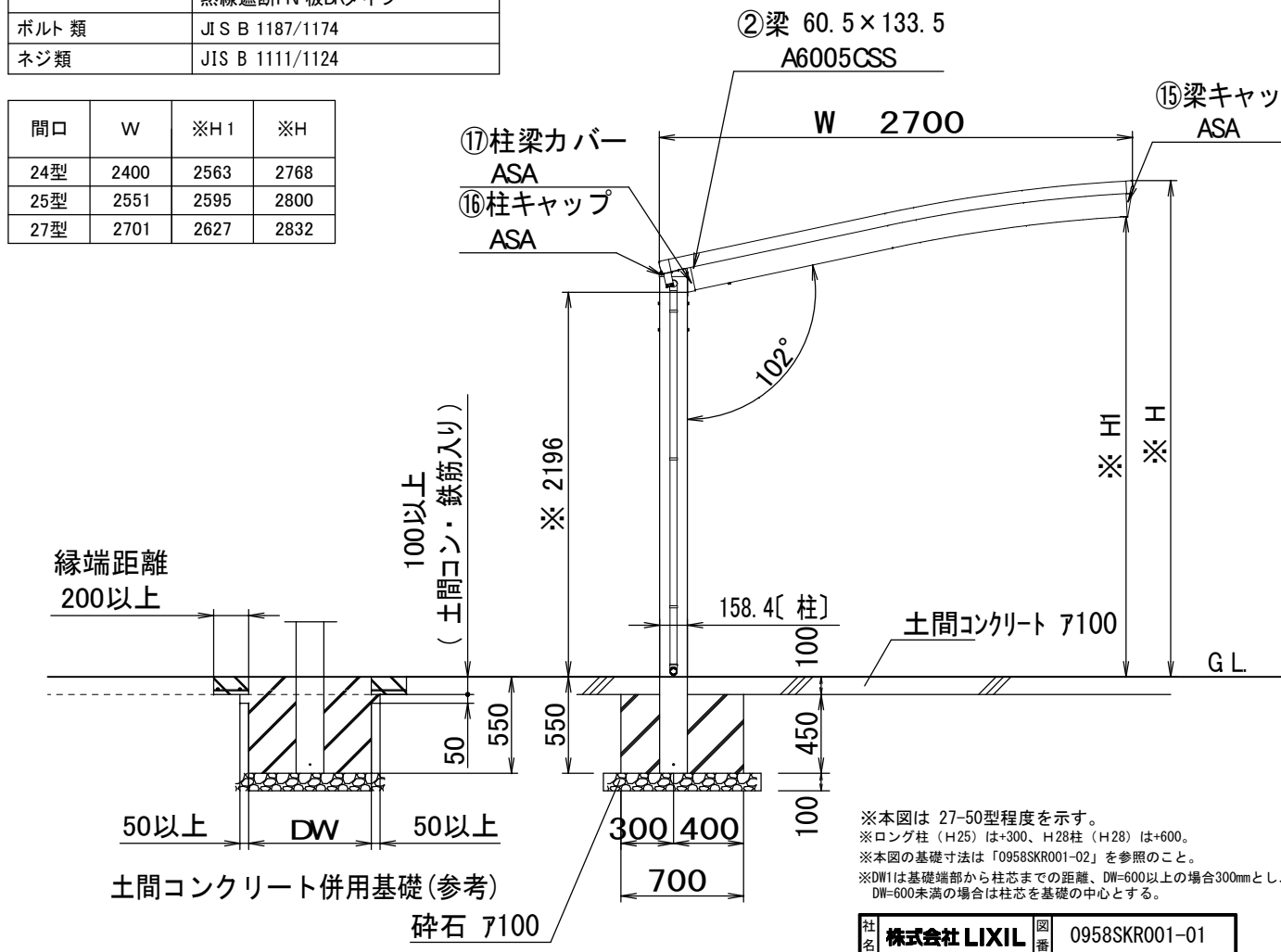
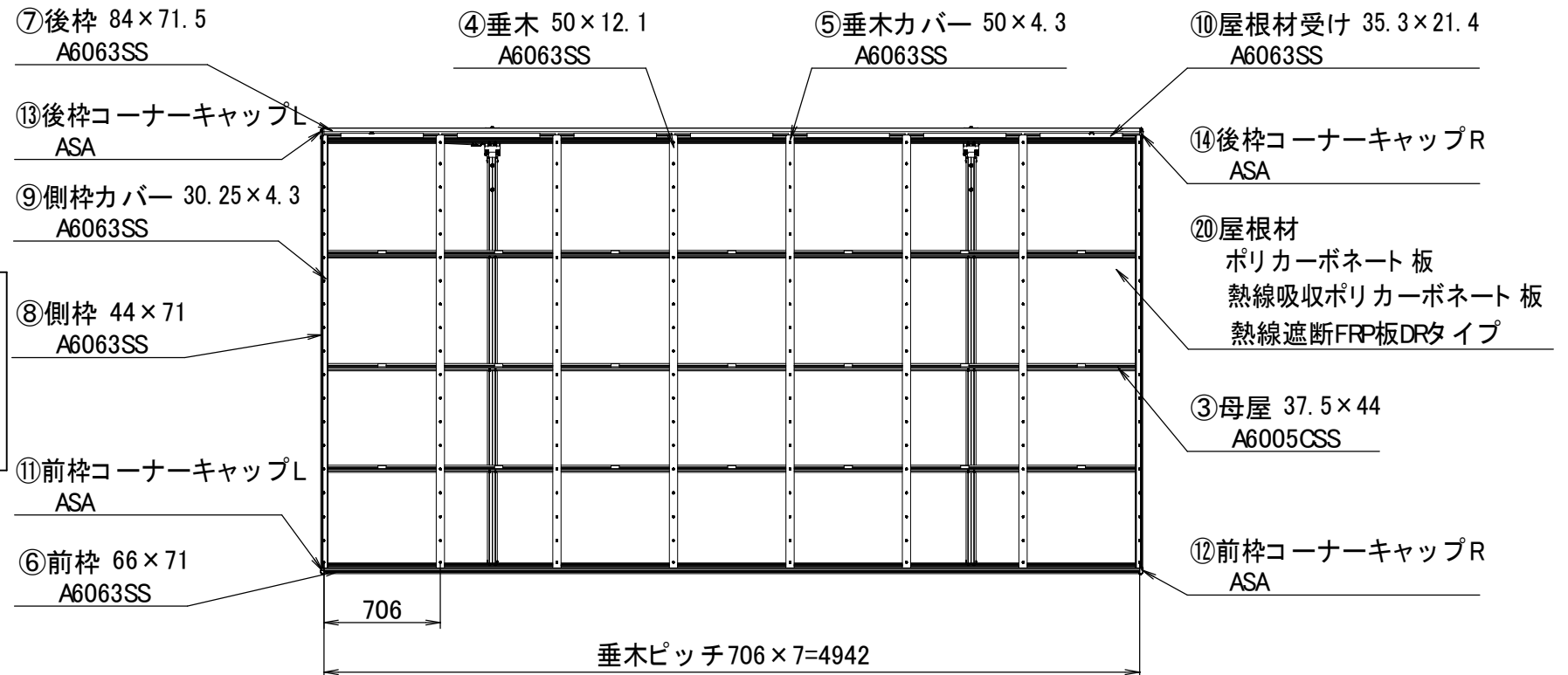
附記：

工事名	折 橋 基 地 機 能 復 旧	工事設計図	設計R7年11月22日	担 当	製 図	植 松 建 築 設 計		図面No.
図面名	仏 像 用 新 設 仏 具 図		縮 尺			管理建築士 植 松 顕 哉 1級建築士 第167191号	三重県尾鷲市大滝町8番15号 TEL (0597) 22-8138	9 枚の内

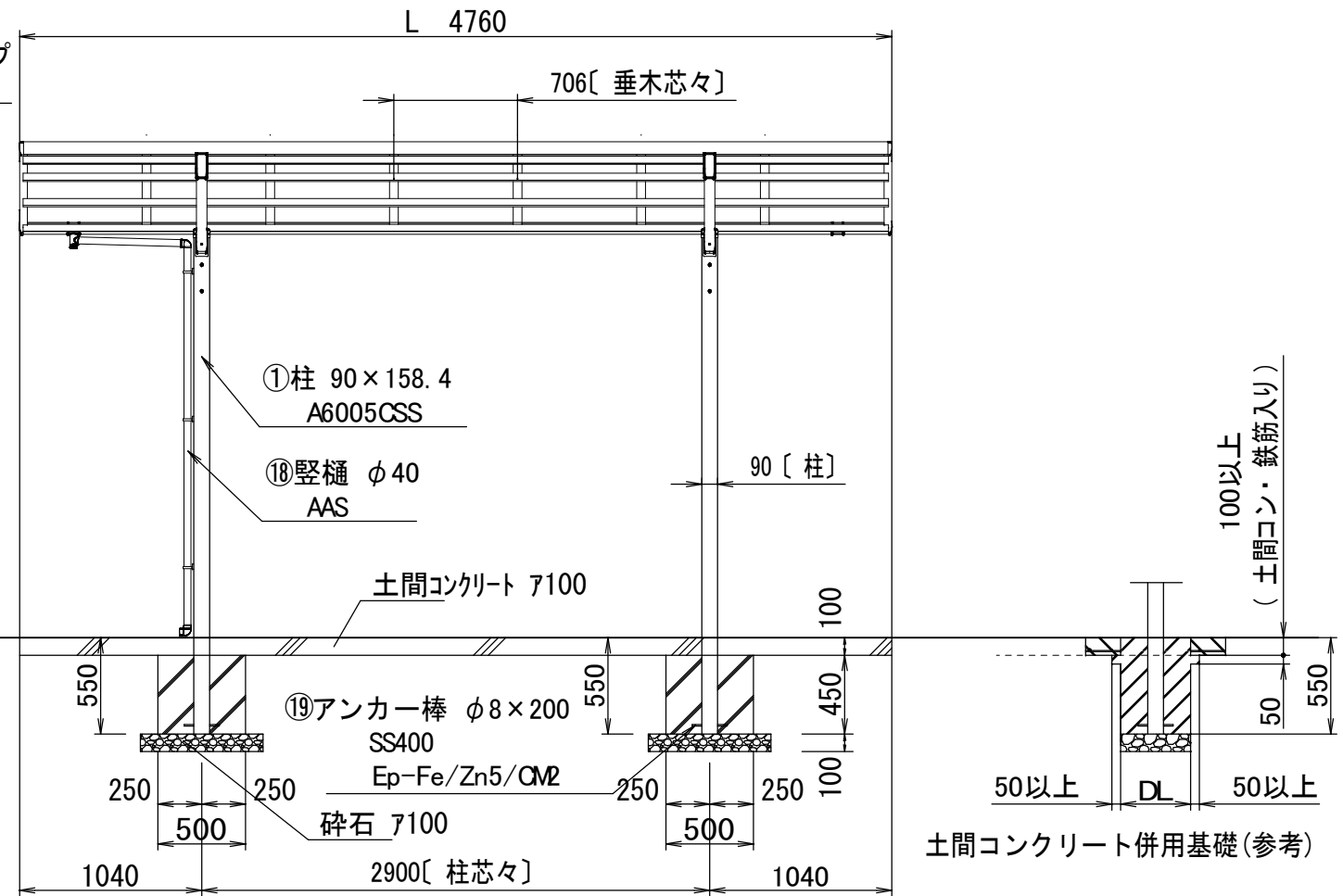
部材名	規格・材質
①柱	JIS H 4100 A6005CSS-T5 (アルミ押出し形材)
②梁	
③母屋	
④垂木	JIS H 4100 A6063SS-T5 (アルミ押出し形材)
⑤垂木カバー	
⑥前枠	
⑦後枠	
⑧側枠	
⑨側枠カバー	
⑩屋根材受け	ASA(樹脂)
⑪前枠コーナーキャップL	
⑫前枠コーナーキャップR	
⑬後枠コーナーキャップL	
⑭後枠コーナーキャップR	
⑮梁キャップ	
⑯柱キャップ	
⑰柱梁カバー	AAS(樹脂)
⑱堅樋	
⑲アンカー棒	SS400
⑳屋根材	ポリカーボネート板
	熱線吸収ポリカーボネート板
	熱線遮断FRP板DRタイプ
ボルト類	JIS B 1187/1174
ネジ類	JIS B 1111/1124

間口	W	※H 1	※H
24型	2400	2563	2768
25型	2551	2595	2800
27型	2701	2627	2832

製品部材（名称 フーゴR900 1台用）
アルミ部材加工品 シャイングレー色
（仕様規定適合 国交省第410号）
屋根 ポリカブルースモーク色
ポリカボネート樹脂板／アルミ型材下地屋根
DW-0029 基準法第68の26第1項の規定に適合



※本図は 27-50型程度を示す。
 ※ロング柱 (H25) は+300、H28柱 (H28) は+600。
 ※本図の基礎寸法は「0958SKR001-02」を参照のこと。
 ※DW1は基礎端部から柱芯までの距離、DW=600以上の場合300mmとし、DW=600未満の場合は柱芯を基礎の中心とする。



工事名	折 橋 墓 地 機 能 復 旧	工事設計図	設計R7年11月22日	担 当	製 図	植 松 建 築 設 計		図面No.
図面名	新 設 休 憩 所 詳 細 図 (参 考)		縮 尺 1 / 4 0			管理建築士 植 松 顕 哉 1級建築士 第 1 6 7 1 9 1 号	三重県尾鷲市大滝町 8 番 1 5 号 T E L (0597) 2 2 - 8 1 3 8	10 枚の内